

KGA GOLFERS NEWS

2025 秋号 No.147

一般社団法人 関東ゴルフ連盟



第78回
関東倶楽部対抗
優勝
鷹之台
カンツリー倶楽部

関東倶楽部対抗特集号

第15回
関東女子倶楽部対抗
優勝
鳳凰
ゴルフ倶楽部



別冊
付録
保存版

2025年 関東倶楽部対抗
2025年 関東女子倶楽部対抗

出場全倶楽部 競技成績



ティーイングエリア

倶楽部対抗で感じた 非日常の競技ゴルフ

多くの競技アマチュアにとって、所属倶楽部を代表して関東倶楽部対抗でプレーすることは、憧れであり、大きな目標のひとつではないでしょうか。私事で恐縮ですが、常に80ストロークを目指してラウンドしているエンジニアゴルフファアの筆者も、倶楽部代表を目指すことで競技へのモチベーションを維持してきました。

関東倶楽部対抗はA（55歳以上）、B（年齢制限なし）両クラスの3〜4人（計6〜8人）でチームを構成し、各クラスの上位2〜3人の合計スコアで競う団体戦。代表選手になるには、KGAに加盟する倶楽部の会員となり、研修会に入会して成績を残すのが一般的です。倶楽部によっては、研修会の成績とは関係なく、月例競技の成績上位者や倶楽部選手権などの公式競技の優勝者が代表となる場合もあります。

今年還暦を迎えた筆者は2000年に、ある千葉県の大衆コースのメンバーとなりました。その倶楽部は関東決勝にも出場する強豪倶楽部で、研修会に入会させてもらったものの、倶楽部競技で平均スコア80程度では、選手選考の対象にすらなりませんでした。それでもショートゲームに磨きをかけて苦節7年、ようやく選手団に入り、指定練習日の結果によっては選手

になれるチャンスが訪れました。ところが大雨の指定練習日に90を叩き、代表の座は競い合っていた仲間が獲得。大会当日、友人が必死でパーセーブする姿に感動し、「いつかは自分もあの舞台で」と決意を新たにすることを憶えています。

その後も倶楽部対抗には縁がないまま数年が過ぎましたが、所属するもう一つのコースで運良く倶楽部選手権に優勝したことで、代表選手に選ばれました。しかし念願のデビュー戦は、強い風雨に見舞われ、91を叩く結果に。1メートル前後のショートパットを何度か外し、極めつけはグリーン周りでのシャンク。もがけばもがくほど、気持ちが空回り。最終ホールはグリーンに向かう途中で悔し涙が止まらず、グリーンサイドで待つ仲間たちに気付かれぬよう、傘も差さずにびしょ濡れでホールアウト。憧れていた舞台は苦行そのものでした。

その後、他倶楽部に移った筆者は14年間で計7回、倶楽部対抗地区予選を経験しましたが、70台は1度だけ。平均スコアは85を超えます。代表選手は倶楽部からプレー代を出してもらい、試合当日にサポートに回る仲間の期待も背負っているだけに、忸怩たる思いがあります。

筆者は今年から広報委員を委嘱され、関東倶楽部対抗決勝競技取材する機会に恵まれました。名のある上級者たちのスタートホールを観測すると、実にスムーズなルーティンでアドレスに入ると、絶妙の力で見事にボールをフェアウェイに運んでいきます。

大接戦の男子決勝を制したのは鷹之台カンツリー倶楽部。決勝競技はA、B各クラスの上位2人、計4人の合計スコアで順位を決めますが、6人全員の合計スコア平均で見ると、鷹之台が79ストローク。一番悪い平均スコアのチームで87・33ストロークでした。

最初に所属した倶楽部の研修会長から「倶楽部対抗では、80を上限に各選手がいかに1打でも少なく回れるかが勝負」と教わりました。実際に経験してみると、非日常の緊張感の中、80以下でプレーすることがいかに難しいか。それは技術やメンタルであり、日々の仕事に追われながらも本戦当日にピークを持っていく体調管理の難しさ。倶楽部対抗の決勝舞台で戦う上級者たちは、日々研鑽し、競技ゴルフを日常にしているのでしょう。

（戸田光法委員）

関東倶楽部対抗特集号

1 ティーイングエリア

決勝競技

2 関東倶楽部対抗（大利根カントリークラブ 東・西コース）

予選競技

- 6 新潟第1会場（米山水源カントリークラブ）
- 7 新潟第2会場（越後ゴルフ倶楽部 奥只見道光高原コース）
- 8 長野会場（松本浅間カントリークラブ 乗鞍・常念コース）
- 9 山梨会場（オリムピックカントリークラブ フジザクラ・ハナミズキコース）
- 10 群馬第1会場（高山ゴルフ倶楽部）
- 11 群馬第2会場（富岡ゴルフ倶楽部）
- 12 栃木第1会場（東松苑ゴルフ倶楽部）
- 13 栃木第2会場（大日向カントリー倶楽部 西・東コース）
- 14 栃木第3会場（鳥山城カントリークラブ 二の丸・三の丸コース）
- 15 茨城第1会場（静ヒルズカントリークラブ）
- 16 茨城第2会場（高萩カントリークラブ）
- 17 茨城第3会場（水戸グリーンカントリークラブ 山方コース）
- 18 埼玉第1会場（鳩山カントリークラブ）
- 19 埼玉第2会場（森林公園ゴルフ倶楽部）
- 20 千葉第1会場（袖ヶ浦カンツリークラブ 袖ヶ浦コース）
- 21 千葉第2会場（ゴルフ倶楽部成田ハイツリー）
- 22 千葉第3会場（姉ヶ崎カントリー倶楽部 東コース）
- 23 千葉第4会場（PGM総成ゴルフクラブ 東・南コース）
- 24 東京会場（青梅ゴルフ倶楽部 東・西コース）
- 25 神奈川第1会場（東京ロイヤルゴルフ倶楽部 EAST・WESTコース）
- 26 神奈川第2会場（秦野カントリークラブ）
- 27 静岡会場（東名カントリークラブ 愛鷹・裾野・桃園コース）

決勝競技

32 関東女子倶楽部対抗（箱根カントリー倶楽部）

予選競技

- 36 新潟会場（糸魚川カントリークラブ）
- 37 長野会場（南長野ゴルフ倶楽部）
- 38 山梨会場（富士レイクサイドカントリー倶楽部）
- 39 群馬会場（甘楽カントリークラブ）
- 40 栃木会場（那須小川ゴルフクラブ）
- 41 茨城第1会場（ワンウェイゴルフクラブ）
- 42 茨城第2会場（マナゴルフクラブ）
- 43 埼玉会場（東京ゴルフ倶楽部）
- 44 千葉第1会場（千葉カントリークラブ 野田コース）
- 45 千葉第2会場（総武カントリークラブ 印旛コース）
- 46 東京会場（東京国際ゴルフ倶楽部）
- 47 神奈川会場（鎌倉カントリークラブ）
- 48 静岡会場（東名カントリークラブ 裾野・桃園コース）

28 FAIRWAY COLLECTION

49 決勝会場トピックス インサイドストーリー

51 連載 ルールQ&A

52 COLUMN

53 INFORMATION

保存版 別冊付録

2025年関東倶楽部対抗／関東女子倶楽部対抗
出場全倶楽部競技成績



ともに初優勝で、その瞬間は喜びを爆発させた鷹之台CCと鳳凰GC。両倶楽部はそれぞれ「チームの意識改革」と「チームワークの良さ」を勝利の原動力に挙げています。詳しくは各決勝競技の詳報をお読みください。

編集／一般社団法人関東ゴルフ連盟広報委員会
統括／近藤勇樹（KGA広報委員長）
大竹 茂（KGA広報副委員長）
久保田昌幸（KGA広報委員）
菅又康倫（KGA広報委員）
鈴木一也（KGA広報委員）
高岡和弘（KGA広報委員）
高野佳子（KGA広報委員）
戸田光法（KGA広報委員）
富澤 仁（KGA広報委員）
本條 強（KGA広報委員）
池田正一（KGA広報委員）
北川外志廣（KGA広報委員）
鈴木温理（KGA広報委員）
古谷隆昭（KGA広報委員）

裏表紙／決勝競技開催会場
大利根カントリークラブ
箱根カントリー倶楽部

決勝
競技

関東倶楽部対抗
大利根カントリークラブ 東・西コース

鷹之台カンツリー倶楽部

1打にこだわる“チーム力”で たぐり寄せた初優勝



2025年関東倶楽部対抗決勝競技

主催

一社) 関東ゴルフ連盟

会場

大利根カントリークラブ



関東ゴルフ連盟 吉田裕明理事長から優勝盾を授与される瀬戸信昭選手(左)。



優勝の知らせに沸く選手・関係者。



チーム内で最後に競技を終えた瀬戸選手を笑顔で出迎え。

いくという総合力で勝てたのかもしれない」とチーム力を強調した。

チームの精神的支柱でもある瀬戸選手は、スタート直前の練習で実は、右手を撃つ(つ)るアクシデントに見舞われた。ショットからバットにも影響が出て、スタートから悪夢のダボ、ボギー、ボギー、ボギー…。日頃からミーティングで選手たちに「1打へのこだわり」を説いてきただけに、忸怩(じくじ)たる思いだったに違いない。「自分は何も言うことがありません。みんなが頑張ってくれた」。

入会して30年余の瀬戸選手によれば、以前の鷹之台CCは「決勝競技に出場できたらうれしい」といったレベルだった。この5年間で水上選手を筆頭に、山野選手、額賀逸朗選手ら他倶楽部から試合経験豊富なアスリートが入会し、チームのポテンシャルは一気に上がった。こうなると瀬戸選手がやることはチームの意識改革。「うちはみんな温和(おとな)しいので、ミーティングの度に『優勝できるんだ』と言い続けました」。

瀬戸選手には、優勝へのモチベーションを高める出来事があった。5



鷹之台CCの代表選手。
左から水上晃男、山野貴之、瀬戸信昭、山岸邦幸、内山貴之、額賀逸朗。

関東倶楽部対抗
決勝競技



Aクラス(西コース): 6618yards・Par72
Bクラス(東コース): 7092yards・Par72
2025年6月9日(月)
●参加倶楽部数: 42 ●競技方法: Aクラス3名、
Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
最優秀選手賞
Aクラス: 小林 隆寿(紫) 72ストローク
Bクラス: 園田 昂生(大熱海国際) 71ストローク
上位5倶楽部
1位 鷹之台カンツリー倶楽部/307ストローク
2位 浜野ゴルフクラブ/308ストローク
3位 木更津ゴルフクラブ/308ストローク
4位 新千葉カントリー倶楽部/308ストローク
5位 太平洋クラブ御殿場コース/310ストローク

「みんなが1打にこだわり頑張ってくれた。感無量です」——鷹之台カンツリー倶楽部のブレインングキャプテンとしてチームを引っ張ってきた71歳の瀬戸信昭選手は、大会後のインタビューで初優勝の喜びをかみしめた。

名匠・井上誠一設計の大利根カントリークラブで開催された決勝競技は、日本シニア3連覇中の水上晃男選手を擁する鷹之台CCが、計307ストローク(A、B両クラス)の上位2人計4人の合計スコアで念願の初優勝を飾った。1打差の308ストロークに、近年の戦力補強で力をつけてきた浜野ゴルフクラブと木更津ゴルフクラブ、そして連覇と6度目の優勝を狙った新千葉カントリー倶楽部が並んだ(順位はBクラスの未採用スコアで決定)。

鷹之台CCのAクラス(55歳以上)の先鋒・水上選手は、硬くて速いグリーンにタッチが合わず3ボギーの39と出遅れた。しかし「みんなのオーバードライを自分が消さない」と気合を入れ直し、後半はさすがの3バーディー、1ボギー。計73打でホールアウトし、エースとしての責任を果たした。

Bクラス(年齢制限なし)の主力・山野貴之選手は1バーディー、4ボギーの75。「調子は悪かったのですが、『ボギーでしよるが』ではなく、なんとかバーを取れないかとマネジメントに徹し、1打を大事にしました。1人1人が1打を縮めて

月20、21日に埼玉県の飯能ゴルフクラブで行われた関東グランドシニア選手権決勝競技で21位に入り、日本グランドシニア出場を決めたのだ。JGAの選手権競技では、2011年の日本シニア、2018年の日本ミッドシニアに続く挑戦となる。「みんなが祝ってくれて、チームとしていい雰囲気だ。倶楽部対抗に臨めました」と振り返る。

開場から93年を迎えた関東7倶楽部の名門である鷹之台CC。一般からは敷居が高く、お堅いイメージがあるが、岩瀬正明支配人は「アットホームな雰囲気、クラブライフを大切にするメンバーが多い」と話す。競技アスリートである水上選手も、フェローシップ委員として、会員とのふれあいを何より大事にする。パーティーの司会を務めたりラウンド後に練習場で会員たちに技術向上のアドバイスを送っているという。

袖ヶ浦カンツリー倶楽部の代表選手として2度の決勝競技での優勝を経験した水上選手は「袖ヶ浦CCでは全日本クラスの方々がばかりでしたから。今回はまさにチーム一丸の勝利。本当に嬉しいですよ」と柔和な表情で語った。鷹之台CCの良き伝統を受け継いだ水上選手が、チームの絆をさらに強め、「常勝・鷹之台」へと変貌させていくかもしれない。

(戸田光法委員)

大利根カントリークラブ



伝統ある倶楽部対抗の決勝競技。舞台となった大利根カントリークラブは、コースをセパレートする松の一枝まできれいに刈り込んで本番を迎えた。支配人の大森啓幹さんは「昨年の日本女子オープンをやらせてもらった際に、入念にコースを整備しました。しかし、倶楽部対抗は20年ぶりなので、前回のことを知っている人も少なく、昨年、決勝競技の開かれた葛城ゴルフ倶楽部（静岡）に下見に行かせてもらって、手順などを学びました」という。

万全の準備をしてもどうにもならないのがこの時期の天候。暑さ、梅雨時期の雨、雷。「もう祈るしかないの、とくに、雷だけはこないでくれと思っていました」と大森支配人。願いは通じて、心配された暑さも厳しくなく、雷もない絶好のコンディションとなった。

選手たちのプレーを各所で見た大森支配人は「いまの選手たちのレベルの高さに驚かされました。いいショットやプレーが随所にあって、素晴らしい決勝競技になったと思います」と、無事終了した大会に安堵の表情だった。（古谷隆昭参与）



Aクラス最優秀選手＝小林隆寿
（紫、72ストローク）



Bクラス最優秀選手＝園田昂生
（大熱海国際、71ストローク）



7位の扶桑CCのBクラス代表、山下勝紀選手。75歳とは思えない飛距離で周りを驚かせていた。



新潟第2会場
予選競技

Aクラス：6342yards・Par72
Bクラス：6737yards・Par72
2025年5月15日（木）●参加倶楽部数：16●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：田井 康孝（大新潟・出雲崎） 75
Bクラス：渡邊 秀吉（中条） 74
石本 哲也（ノーブルウッド） 74
上田 昭（越後） 74

上位3倶楽部
1位 ノーブルウッドゴルフクラブ／468ストローク
2位 ヨネックスカントリークラブ／474ストローク
3位 妙高カントリークラブ／478ストローク



名物ホールのひとつ、15番グリーン風景。

決勝進出
1位

ノーブルウッドゴルフクラブ

支配人 加藤源太氏
関東倶楽部対抗の開催は2015年以来、10年ぶりの開催となりました。当倶楽部は新潟県魚沼市に位置し、降雪により約5カ月間クローズとなります。今シーズンは4m超えの積雪を記録し、4月中のオープンが非常に厳しい状況となっておりますが、社員の懸命な除雪作業と天候にも恵まれ、4月30日にオープンを迎えることができました。

雪解け間もないことからコースコンディションが心配されておりましたが、毎年の降雪に備えた準備と連日の作業により、5月上旬ではかなり

決勝進出
2位

ヨネックスカントリークラブ

よいコンディションに仕上げることができました。当日は好天に恵まれ、選手の方々からは倶楽部代表としてプレッシャーの中、熱戦を繰り広げていただきました。

本競技会開催にあたり、ご尽力いただきました関東ゴルフ連盟の皆様、担当競技委員の皆様ならびに参加倶楽部の選手、関係者の方々のご協力に深く感謝し、心より御礼申し上げます。

また、決勝に進出されましたノーブルウッドゴルフクラブ、ヨネックスカントリークラブの皆様には決勝でのご活躍を心より祈念いたしております。



9番グリーン周りの応援風景。



10番ティーのスタート応援風景。



越後ゴルフ倶楽部

越後ゴルフ倶楽部
奥只見道光高原コース
降雪に備えた準備と連日の作業で
ほぼ良好のコンディションで開催

新潟第1会場
予選競技

Aクラス：6350yards・Par72
Bクラス：6759yards・Par72
2025年5月13日（火）●参加倶楽部数：16●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：小山 昭男（妙高サンシャイン） 74
Bクラス：見田 和也（イーストヒル） 73

上位3倶楽部
1位 イーストヒルゴルフクラブ／472ストローク
2位 長岡カントリー倶楽部／473ストローク
3位 新発田城カントリー倶楽部／477ストローク



競技当日6時前の1番ティー。

決勝進出
1位

イーストヒルゴルフクラブ

支配人代行
兼営業マネージャー
小池栄子氏
当倶楽部は開場53年目を迎え新潟県上越地区の豪雪地帯にありながら、冬期間にも比較的雪の影響がなく営業を続けられる県内でも稀有なコースです。

近年では、2019年に関東女子倶楽部対抗予選競技に続き、この度は新潟第1会場を開催することが出来ました。

競技当日は青空広がる晴天、最高気温も22℃と最高のゴルフ日和となりました。

決勝進出
2位

長岡カントリー倶楽部

私個人も、長年に渡り女子倶楽部対抗の米山水源カントリークラブの代表選手として参加してききました。

参加選手の皆様がプレーする姿を自分に重ね、熱き想いと応援する気持ち、また倶楽部対抗が未来永劫継続して欲しいと心より祈っております。

最後になりますが、本競技開催にあたりご尽力いただいた関東ゴルフ連盟並びに各倶楽部様に御礼申し上げますと共に選手皆様の今後のご活躍をご祈念申し上げます。



名物ホールのひとつ、12番パー4。



OUTコース練習グリーン。



米山水源カントリークラブ

米山水源カントリークラブ
2019年の女子倶楽部対抗以来、
6年ぶりの倶楽部対抗競技開催

Aクラス：6422yards・Par72
Bクラス：6868yards・Par72
2025年5月13日（火）●参加倶楽部数：20●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：渡邊 博之（境川）70
Bクラス：中野 健一（都）73
手塚 大輔（昇仙峡）73
有川 潤（レイク相模）73
赤坂 昇（都）73

上位3倶楽部
1位 都ゴルフ倶楽部／299ストローク
2位 富士レイクサイドカントリー倶楽部／306ストローク
3位 春日居ゴルフ倶楽部／311ストローク



競技開始前の練習グリーン風景。



決勝進出
1位

都ゴルフ倶楽部



決勝進出
2位

富士レイクサイドカントリー倶楽部



好評を博したレストランのbuffetメニュー。



当日は絶好の観戦日より。



オリンピックカントリークラブ

オリムピックカントリークラブ フジクラ・ハナミズキコース

良好なコースコンディションのもと
選手たちの真剣なプレーに深く感銘

支配人 飯田秀一氏
この度はオリムピックカントリークラブにて関東倶楽部対抗予選を開催できましたこと、光栄に存じます。
当日は快晴にも恵まれ、事前の整備によりコースコンディションも良好な状態で迎えできたことを嬉しく思います。参加20倶楽部の熱戦の中、予選通過を果たされた2チームに心より祝福を申し上げます。
当クラブは残念ながら届きませんでしたが、選手の皆様の真剣なプレーに深く感銘を受けました。また、レストランでのbuffetスタイルの食

事が好評をいただき、スタッフ一同励みになりました。今後も地域ゴルフの発展と活性化に尽力してまいります。

オリンピックCC比留間秀明選手。

Aクラス：6365yards・Par72
Bクラス：6780yards・Par72
2025年5月15日（木）●参加倶楽部数：25●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：小林 浩之（諏訪湖）69
Bクラス：上條 五大（穂高）67
上位3倶楽部
1位 穂高カントリークラブ／292ストローク
2位 サニーカントリークラブ／294ストローク
3位 豊科カントリー倶楽部／298ストローク



青空のもとスタート風景。



決勝進出
1位

穂高カントリークラブ



決勝進出
2位

サニーカントリークラブ



松本浅間カントリークラブ

松本浅間カントリークラブ 乗鞍・常念コース

今年開場36周年を迎える
北アルプス連山を望む27ホールのコース

総支配人 望月一将氏
当、松本浅間カントリークラブは、松本平を眼下に北アルプス連山を望む27日のゴルフ場です。平成元年にオープンし、今年で開場36周年を迎えます。
関東倶楽部対抗予選競技の会場となるのは今回で2回目となり、前回は平成13年でしたので、実に24年ぶりの開催となりました。会場となる事が決まっただけで、選手の皆様に満足頂ける様なコースコンディションにするべく、管理課一同、一生懸命作業を行ってきましたが、昨年の猛暑の影響で一部不良箇所が

ありましたこと、この場をお借りしてお詫び申し上げます。
競技当日は素晴らしい天気で、選手の皆様は実力を十二分に発揮され素晴らしいプレーをされておりました。決勝に進まれる、穂高カントリークラブ、サニーカントリークラブの皆様のご健闘をお祈り申し上げます。
最後になりましたが、開催にあたり関東ゴルフ連盟の原史郎競技委員長をはじめ競技委員の方々、関係者の皆様のご協力のおかげで無事に開催できましたこと、心よりお礼申し上げます。



Aクラス：6347yards・Par72
Bクラス：6764yards・Par72
2025年5月15日（木）●参加倶楽部数：14●通過倶楽部数：1●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：秋山 肇（白水）73
Bクラス：松原 孝行（緑野）70
上位3倶楽部
1位 伊香保ゴルフ倶楽部／454ストローク
2位 草津カントリークラブ／465ストローク
3位 伊香保国際カンツリークラブ／466ストローク



刈高4・0mmの美しく整備されたグリーン



決勝進出
1位

伊香保ゴルフ倶楽部



富岡ゴルフ倶楽部



競技は終始、和やかな雰囲気で開催。

富岡ゴルフ倶楽部

バーディーには他倶楽部からも拍手喝采の和やかな競技風景

支配人 関口論理氏

2025年関東倶楽部対抗群馬第2会場予選競技が群馬県は西上州の丘陵地にある富岡ゴルフ倶楽部にて14倶楽部112名の選手が参加し、開催されました。
当倶楽部は平成3年（1991年）8月に開場し、会員をはじめ多くの皆様に支えられながら今年で34年目を迎える事が出来ました。前回平成26年（2014年）に同じく予選会場としてコース提供させて頂き、今回2回目の自コース開催となります。
定刻、7時30分アウトAクラス・インBクラスともにティーオフ。5月

の日差しを受けて朝のティートショットが放たれました。この日に照準を合わせ、コース管理部ではハザードラインを明確に整備し、ルール上のトラブルがない様に仕上げました。また1ヶ月前にはグリーンのコアリングを行い、目砂刈込みを繰り返し、刈高4・0ミリ、ステインプメーター10・0フィートで天気同様絶好の状態となりました。
出場選手は各倶楽部の応援団や大勢のギャラリーに囲まれ、特にバーディーの選手には他倶楽部からも絶賛の拍手喝采を浴び、満面の笑みで迎えられました。
午後3時にはすべての

選手がホールアウト、テストが終了し、無事に競技は幕を閉じました。残念ながら当倶楽部の予選通過は叶いませんでしたが、出場した選手全員に心から感謝の気持ち伝えたいと思います。
また群馬第2会場の代表として決勝に進出されます伊香保ゴルフ倶楽部の皆様のご健闘を祈念致します。
最後になりますが、本競技開催にあたり設楽守廣委員長をはじめ競技委員の皆様、参加倶楽部の皆様、そして競技開催にあたりご協力頂いた皆様に感謝申し上げますとともに厚く御礼を申し上げます。



Aクラス：6417yards・Par72
Bクラス：6714yards・Par72
2025年5月16日（金）●参加倶楽部数：13●通過倶楽部数：1●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：高瀬 清美（赤城国際）73
Bクラス：飯塚 裕一（藤岡）72
上位3倶楽部
1位 妙義カントリークラブ／462ストローク
2位 赤城国際カントリークラブ／464ストローク
3位 初穂カントリークラブ／465ストローク



大勢のギャラリーが見つめるスタートホール風景。

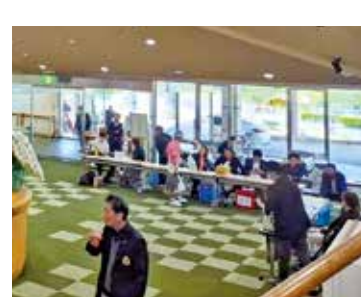


決勝進出
1位

妙義カントリークラブ



高山ゴルフ倶楽部



朝の受付。



スタート前の練習グリーン。



10番ティーは後方から選手を応援。

高山ゴルフ倶楽部

フェアなコースコンディション造りへ準備にまい進

支配人 鈴木孝二氏

当倶楽部での倶楽部対抗は2013年以来12年ぶりの開催となりました。
ビックイベントという事で、選手の皆様に実力を発揮していただけるような、フェアなコースコンディション造りを目指した。当日は天候に恵まれ絶好のゴルフ日和となりましたが、グリーンコンパクションが固めで、選手の皆様も苦労したようです。アウト・インのティートエリアが近いこともあり、選手は多

くのギャラリーに見守られ緊張のスタートを切って行きました。
熱戦の結果、決勝進出1クラブの狭き門を見事突破した妙義CCの皆様には決勝でのご活躍を心よりご祈念申し上げます。
本競技の開催にあたり、萩原篤博競技委員長をはじめ、KGA競技委員の皆様、各倶楽部の選手及び関係者の皆様にご協力頂き、無事に競技を終了することができ、深く感謝すると共に、御礼申し上げます。

栃木 第1会場

東松苑ゴルフ倶楽部

公平・公正をモットーに、
何より安全を第一に無事開催



10番ティーのスタート風景。

支配人 岩崎昌義氏

1983年、創業者である故中島巖がこの地を選び、お陰様で当倶楽部はこの10月に開場37年を迎えさせて頂くこととなりました。

ゴルフ場は南に面していることもあり、北西の風を遮り、冬は暖かく、夏は風通しの良い立地は、関東平野が一望できることもあり、遠くに富士山を望めるという生活圏の中にあつて雄大な景色をも楽しめるゴルフコースです。

当倶楽部では2016年(平成28年)以来9年ぶ

りの倶楽部対抗栃木予選会場となりましたが、各参加倶楽部の皆様には少しでも良いコンディションでプレーして頂きたく、キーパーを始めとする管理スタッフが丸となり取り組ませて頂きました。

また、運営につきましても、私共の倶楽部が競技に対し最も重んじている公平・公正をモットーに、そして何より安全を第一に日々努めさせて頂きました。

この度、歴史と伝統ある倶楽部対抗競技会を開催そして無事終了させて頂

頂くことができましたことは、これも偏に競技運営にご理解とご協力を頂きました各倶楽部の選手の皆様、倶楽部関係者の皆様、そして、事前の打ち合わせから始まり競技当日の競技運営にご尽力頂きましたKGA競技委員会の皆様のお力添えのお陰であると、心より感謝申し上げます。

これからもゴルフの発展とゴルフ振興への積極的な取り組み、そして、微力ながらも地域貢献に取り組んでまいりたいと考えております。

栃木第1会場 予選競技



Aクラス：6307yards・Par72
Bクラス：6540yards・Par72
2025年5月16日(金) ●参加倶楽部数：18 ●通過倶楽部数：2 ●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：大島 洋司(矢板) 72
吉羽 成智(ニュー・セントアンドリュース) 72
Bクラス：菊地 諭史(塩原) 69
上位3倶楽部
1位 ニュー・セントアンドリュースゴルフクラブ・ジャパン / 453ストローク
2位 東松苑ゴルフ倶楽部 / 455ストローク
3位 サンヒルズカントリークラブ / 458ストローク

栃木 第2会場

大日向カントリー倶楽部 西・東コース

良質のコースコンディションに
参加選手からは高い評価の声



本競技では1番ホールとして使用された西コースの1番パー5。

支配人 関谷能人氏

当倶楽部では6年ぶりの開催となった関東倶楽部対抗栃木第2会場予選競技でしたが、競技日の5月12日(月)の天気予報は昼頃までの雨予報。6年前は大雨で予備日に順延となった記憶が蘇りましたが、予定通り7時30分から順調にスタートした選手たち。

稲沢グリーンキーパーの下で、全スタッフが良好な状態で選手たちをお迎えしたい信念を強く持つて作業に当たり、当日はグリーン刈り高3・4ミリ、ステインプメーター10・5フィートのコンディションを提供する

ことができ、参加いただいた各倶楽部の選手からも高い評価を頂戴しました。

競技結果につきまして3年連続の予選突破を目指していた当倶楽部は残念ながら本来の実力を発揮することができず、決勝競技への参加を叶えることができませんでした

が、見事に予選を突破した希望丘カントリークラブと那須カントリークラブの選手の皆様には決勝競技でも栃木県代表チームとして上位入賞を目指してプレーを楽しんでいただきたいと思います。最後にありますが、競技開催にあたりまして小



決勝進出
1位

ニュー・セントアンドリュースゴルフクラブ・ジャパン



決勝進出
2位

東松苑ゴルフ倶楽部



多くのギャラリーが見守る18番グリーン



ハウス前に広がる練習グリーン



東コースの6番パー5。

笠原みさ子競技委員長をはじめKGAの皆様、参加いただいた各倶楽部の選手・関係者の皆様、競技運営にご協力いただきましたボランティアスタッフの皆様へ改めて心より感謝申し上げます。

栃木第2会場 予選競技



Aクラス：6431yards・Par72
Bクラス：6858yards・Par72
2025年5月12日(月) ●参加倶楽部数：18 ●通過倶楽部数：2 ●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：齊藤 和範(早月・鹿沼) 74
関根 秋夫(鹿沼) 74
Bクラス：宮崎 星冬(鹿沼プレミア) 74
上位3倶楽部
1位 希望丘カントリークラブ / 466ストローク
2位 那須カントリークラブ / 467ストローク
3位 鹿沼プレミアゴルフ倶楽部 / 469ストローク



決勝進出
1位

希望丘カントリークラブ



決勝進出
2位

那須カントリークラブ



大日向カントリー倶楽部

茨城第1会場
予選競技



Aクラス：6321yards・Par72
Bクラス：6813yards・Par72
2025年5月12日（月）●参加倶楽部数：20 ●通過倶楽部数：2 ●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：藤井 幸博（江戸崎）72
伊藤 耕治（扶桑）72
Bクラス：才記 正明（扶桑）74
上位3倶楽部
1位 扶桑カントリー倶楽部／298ストローク
2位 静ヒルズカントリークラブ／308ストローク
3位 江戸崎カントリー倶楽部／313ストローク



1番ティー越しにクラブハウスを眺望する。



決勝進出
1位

扶桑カントリー倶楽部

支配人 菊池武彦氏
当クラブでは、今回、初めて倶楽部対抗予選競技の会場をお引き受けさせていただきました。
競技開催に向けて、良好なコースコンディションの提供など、選手の皆様が十分実力を発揮できるよう準備に取り組んで参りました。当日は、早朝から小雨模様でしたが、ギャラリーの方々の明るい声援が響き渡るなど、独特の雰囲気の中で行われ、無事に終了致しました。
参加選手の皆様におかれましては大変お疲れ様でございました。

1位で通過されました「扶桑カントリー倶楽部」の皆様、ホームコースの重圧がある中で2位通過する事ができた「静ヒルズカントリークラブ」選手の皆様、おめでとうございました。
決勝でのご活躍をお祈りしております。
最後になりますが、競技開催にあたり、ご尽力いただきました関東ゴルフ連盟の皆様、菊地久競技委員長はじめ、競技委員の皆様、応援してくださった静ヒルズCC会員の皆様、競技が無事に終了できました事、心より感謝申し上げます。



決勝進出
2位

静ヒルズカントリークラブ



代表選手の健闘を称える静ヒルズCCの面々。



10番ティーのスタート風景。



小雨模様の18番グリーン。

茨城第1会場

静ヒルズカントリークラブ
初の倶楽部対抗競技開催
倶楽部も決勝競技進出を獲得

栃木第3会場
予選競技



Aクラス：6383yards・Par72
Bクラス：6854yards・Par72
2025年5月15日（木）●参加倶楽部数：17 ●通過倶楽部数：2 ●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：橋本 健（那須小川）72
Bクラス：斎藤 廉（鷹）72
上位3倶楽部
1位 那須小川ゴルフクラブ／461ストローク
2位 鷹ゴルフ倶楽部／485ストローク
3位 烏山城カントリークラブ／485ストローク



名物ホール「三の丸」コースの最終9番ホール。



決勝進出
1位

関東倶楽部対抗栃木第3会場予選競技大会
那須小川ゴルフクラブ

総支配人 斎藤一彦氏
当倶楽部は、1974年10月に井上誠一氏が設計した唯一の27ホールとして誕生し、開場50周年となります。このたび、5月15日、関東倶楽部対抗栃木第3会場として、二の丸、三の丸コースを舞台に17クラブ、総勢135名の倶楽部代表選手が出演して熱戦が繰り広げられました。
年に一度の各倶楽部挙げての競技であり、倶楽部対抗に相応しい舞台づくりにコース管理を重点に進めて参りました。
当日は、好天には恵まれましたが、難攻不落のコースと硬いグリーンに各選手が苦しむなか、2位に24打差の圧倒的な強

さとチームワークで攻略した那須小川ゴルフクラブが優勝となりました。また、当倶楽部と同スコアの鷹ゴルフ倶楽部が競技規定により、2位となり、6月9日に大利根カントリークラブで行われる決勝競技に駒を進めました。当倶楽部は、決勝進出は、叶いませんでしたが、両倶楽部には栃木県代表として、ご活躍されますことを心よりご祈念申し上げます。
最後になりますが、競技開催にあたり、関東ゴルフ連盟、菊地久競技委員長はじめ競技委員の皆様、参加倶楽部関係者に心より御礼申し上げます。



決勝進出
2位

鷹ゴルフ倶楽部



美しい景観の「二の丸」コースの4番ホール。



「二の丸」コースの1番ティー。

栃木第3会場

烏山城カントリークラブ
二の丸・三の丸コース
昨年開場50周年を迎えた
難攻不落のコースで熱戦が展開



烏山城カントリークラブ



Aクラス：6480yards・Par72
Bクラス：6820yards・Par72
2025年5月14日（水）●参加倶楽部数：19●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：富田 文雄（茨城）70
Bクラス：小松崎 博（JGM笠間）71
上位3倶楽部
1位 セントラルゴルフクラブ／300ストローク
2位 茨城ゴルフ倶楽部／301ストローク
3位 水戸グリーンカントリークラブ 山方コース／305ストローク



クラブハウスをバックにティショットを放つ16番パー3

水戸グリーンカントリークラブ 山方コース

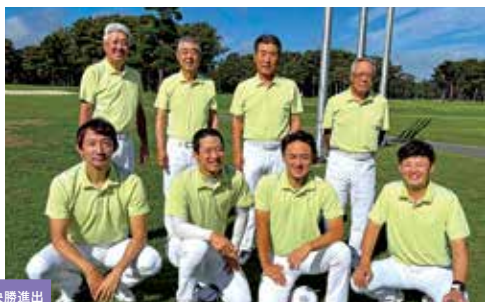
選手に最高のコースコンディショニングを！
スタッフ一同、コース整備や運営に尽力



決勝進出
1位

セントラルゴルフクラブ

支配人 高橋亮一氏
昨年は関東女子倶楽部対抗予選、そして今年には関東倶楽部対抗予選と、2年連続で当クラブにて格式のある競技を開催出来た事は当クラブとしても大変光栄なことでございます。これもひとえに、日頃より当クラブを支えてくださっている皆様、そして本競技の開催にあたりご尽力いただきました関東ゴルフ連盟ならびに関係各位のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。競技当日は天候に恵まれ、数多くのギャラリーの方も来場され、選



決勝進出
2位

茨城ゴルフ倶楽部

手の皆様も日頃の成果を遺憾なく発揮いただけたものと存じます。私どもスタッフ一同も、選手の皆様が最高のコンディショニングでプレーいただけるよう、コース整備や運営に全力を尽くしてまいりました。残念ながら当クラブは決勝への連続出場が途絶えてしまいました。来年は必ず好成績を掴んで頂けると思います。

最後に、ご参加いただきました各倶楽部の皆様の今後益々のご健闘をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



陽光あふれるレストラン。



朝もやのなかのドライビングレンジ。



水戸グリーンカントリークラブ 山方コース



Aクラス：6300yards・Par72
Bクラス：6749yards・Par72
2025年5月15日（木）●参加倶楽部数：20●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：矢口 武之（浅見）72
Bクラス：稲村 雅樹（高萩）68
上位3倶楽部
1位 浅見ゴルフ倶楽部／290ストローク
2位 高萩カントリークラブ／294ストローク
3位 猿島カントリー倶楽部／302ストローク



スタートホールの1番の全景。

高萩カントリークラブ

県内他倶楽部の協力・支援と
スタッフ総出の準備で競技は無事遂行



決勝進出
1位

浅見ゴルフ倶楽部

支配人 高木裕氏
2025年関東倶楽部対抗茨城第2会場予選競技の開催にあたり、準備にご尽力いただきました鯛康一委員長をはじめとする競技委員の皆様のおかげで大きなトラブルもなく無事に競技を終了することができました。こと、本当に感謝申し上げます。当倶楽部は他の開催倶楽部様に比べ競技を行えるレベルには到底及ばない状況からのスタートとなりましたが、県内他倶楽部の支配人様やグリーンキーパー様の助言をいただきながら日々準備を進めてまいりました。



決勝進出
2位

高萩カントリークラブ



9番グリーンの遠景。

決して皆様にご満足いただける状況ではなかったかもしれませんが、倶楽部対抗という競技の趣旨に沿うべく全スタッフ総出で準備をしてまいりました。無事に競技を終えられたことに感謝し、ご尽力いただいたすべての関係者に御礼を申し上げます。



18番グリーンの応援風景。



朝の練習グリーン風景。



大勢の応援メンバーが集まった1番ティー。

予選競技

埼玉第2会場

Aクラス：6433yards・Par72
Bクラス：6843yards・Par72
2025年5月12日（月）●参加倶楽部数：22●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：大野 達朗（武蔵）73
高橋 聡（鴻巣）73
繁田 勝（鴻巣）73
Bクラス：高橋 大輔（オリムピックナショナル）72
上位3倶楽部
1位 オリムピックナショナルゴルフクラブ／300ストローク
2位 森林公園ゴルフ倶楽部／301ストローク
3位 岡部チサンカントリークラブ／305ストローク



決勝進出
1位

オリムピックナショナルゴルフクラブ

18番グリーン。右端は森林公園GCの小林正志選手。

総支配人 阿部和彦氏
当倶楽部での予選競技は、2011年以来2度目の開催となりました。時々霧雨の舞う曇天の中、大勢の倶楽部関係者の声援を受け1組目がスタートしました。天候もさることながら、昨年ダメージを受けたグリーンを選手の皆さんがどのように感じるか、負担にならないか気掛かりでしたが、最終組のホールアウトを見届け、漸く安堵いたしました。

コロナ禍明けとはいえ、運営上コース内の立入りなど施設利用面で制限を課せざるを得ませんでした。スタートホールのティー周りや上がり



決勝進出
2位

森林公園ゴルフ倶楽部



正面玄関。



応援の熱い視線が注がれる18番グリーン。



9番グリーン上、森林公園GCの井上涼選手（左から2人目）。



スタート前のパッティンググリーン風景。

埼玉
第2会場

森林公園ゴルフ倶楽部

大勢のギャラリーが
選手の奮闘意欲を掻き立てた

予選競技

埼玉第1会場

Aクラス：6484yards・Par72
Bクラス：6899yards・Par72
2025年5月12日（月）●参加倶楽部数：22●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：土田 恭章（さいたま）72
Bクラス：水村 福徳（石坂）69
上位3倶楽部
1位 嵐山カントリークラブ／309ストローク
2位 さいたまゴルフクラブ／309ストローク
3位 石坂ゴルフ倶楽部／310ストローク



決勝進出
1位

嵐山カントリークラブ

フェアウェイ右サイドに池が広がる18番パー5。

支配人 松本達也氏
2025年開催クラブとして、今年度より倶楽部対抗の応援制限が解除されました。クラブとしては多くの方を受け入れられるようコース外の駐車場の手配などを行い、各倶楽部の休憩スペースを確保いたしました。運営については、2012年に倶楽部対抗会場でありましたので、回想し、進めて参りました。コースについては、グリーンスピード・コンパクションに重点を置き仕上げてまいりました。

選手はホームコースの地の利よりもプレッ



決勝進出
2位

さいたまゴルフクラブ



池越えの17番パー3。

シャワーの方が大きかったようで、目標には届きませんでした。良い経験が出来たと思います。

次回ホーム開催は21年後、鳩山カントリークラブでお待ちしております。



10番ティーのスタート風景。



小雨が降る練習グリーン。



鳩山カントリークラブ

埼玉
第1会場

鳩山カントリークラブ

ギャラリーの入場制限解除に応じ、
駐車場や応援スペースの確保等の配慮



Aクラス：6370yards・Par72
Bクラス：6662yards・Par72
2025年5月16日（金）●参加倶楽部数：19●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：木村 仁（千葉）74
Bクラス：高山 知晃（千葉）73
上位3倶楽部
1位 千葉カントリークラブ／306ストローク
2位 ロイヤルスターゴルフクラブ／307ストローク
3位 平川カントリークラブ／310ストローク



クラブハウスからの練習グリーン方向を眺望。



決勝進出
1位

千葉カントリークラブ

総支配人 永井秀和氏
2015年に続く2度目の関東倶楽部対抗千葉予選会場となりました。ゴルフ倶楽部成田ハイツリーは昭和53年開場でもなく50周年を迎えます。当倶楽部は会員よりお預かりした資金で施設の改修をすすめるなど少し変わった経営スタイルをとっております。今回2度目の倶楽部対抗競技をお引き受けすることになり、競技に向けたコンディション作りをするため、例年とは違った春先の対応をとりました。また、競技当日はコース管理において応援の人員を配置し対応いたしました。

天候にも恵まれ絶好のコンディションとなり、倶楽部対抗特有の緊張感のなかスタートして行きました。千葉予選競技では初めてのセルフプレーでしたが、何のトラブルもなく競技が無事終了しました。最後にりましたが前日よりご苦労頂いた連盟の競技委員の皆様大変お疲れ様でした。また、関係者各位に感謝し、心より御礼申し上げます。



決勝進出
2位

ロイヤルスターゴルフクラブ



練習グリーン越しのクラブハウス。



芝打席の練習場。



ゴルフ倶楽部成田ハイツリー

千葉第2会場 ゴルフ倶楽部成田ハイツリー

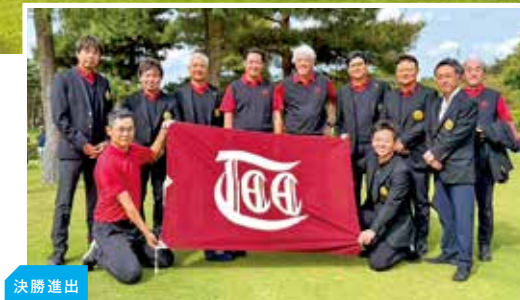
千葉予選競技では初のセルフプレーもトラブルはなく無事終了



Aクラス：6366yards・Par72
Bクラス：6648yards・Par72
2025年5月9日（金）●参加倶楽部数：19●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：水上 晃男（鷹之台）70
Bクラス：佐々木 賢（君津香木原）71
上位3倶楽部
1位 鷹之台カンツリー倶楽部／303ストローク
2位 アコーディア・ゴルフ習志野カントリークラブ／303ストローク
3位 本千葉カントリークラブ／309ストローク



バター練習グリーン。



決勝進出
1位

鷹之台カンツリー倶楽部

総支配人 中臺雅樹氏
関東倶楽部対抗千葉第1予選競技が、当クラブ袖ヶ浦コースにて19倶楽部・114名の選手をお迎えして行われました。当日は天候にも恵まれ、絶好のゴルフ日和となり、良好なコンディションで開催することが出来ました。当コースは日本オープン、ブリヂストンレディスオープンなど、開場以来多くのトーナメントを開催してまいりました。その経験を活かし、皆様に素晴らしいプレーをしていただけるよう、スタッフ一同準備に勤しんでまいりました。

昨今の天候不順、特に昨年12月から今年の1月・2月と雨量が少なく、乾燥続きの影響もあり、春先の芽出しの時期に葉が揃わずグリーンの更新作業の穴もなかなか埋まらないなど、苦慮することもありましたが、ようやく良好な状態にこぎつけることが出来ました。袖ヶ浦コースは林間コースで距離が長く、グリーンは砲台でガードバンカーが深く、難易度高くタフなコースとなっております。まさに選手の皆様の実力が試されるコースだとは思いますが、素晴

しいプレーが続出し、大いに競技を盛り上げていただきました。倶楽部対抗という緊張感のなか、独特の盛り上がりを見ることが出来た競技会になったかと思えます。ご尽力いただきました宮本貴夫競技委員長をはじめ、関東ゴルフ連盟の皆様、また倶楽部代表選手・応援団の皆様、さらにはサポートしていただきました全ての皆様には改めて御礼申し上げます。ともに、無事に本競技を終えることが出来たことを心より感謝申し上げます。



決勝進出
2位

アコーディア・ゴルフ習志野カントリークラブ



袖ヶ浦カンツリークラブ

千葉第1会場 袖ヶ浦カンツリークラブ

難易度の高いタフなコースを相手に素晴らしいプレーが続出

しいプレーが続出し、大いに競技を盛り上げていただきました。



Aクラス：6374yards・Par72
Bクラス：6724yards・Par72
2025年5月12日（月）●参加倶楽部数：19●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：宮下 雄一（浜野）74
Bクラス：太田 智喜（浜野）71
上位3倶楽部
1位 浜野ゴルフクラブ／297ストローク
2位 木更津ゴルフクラブ／304ストローク
3位 長太郎カントリークラブ／307ストローク



出場選手でにぎわう練習グリーン。



決勝進出
1位

浜野ゴルフクラブ



決勝進出
2位

木更津ゴルフクラブ



雨にも熱い応援風景が見られた9番ホール。



1番ティー後方の応援風景。



PGM総成ゴルフクラブ

PGM総成ゴルフクラブ
東・南コース
研修会メンバーも加わっての目土作業
良好なコースコンディションで開催

東・南コース



Aクラス：6411yards・Par72
Bクラス：6793yards・Par72
2025年5月16日（金）●参加倶楽部数：19●通過倶楽部数：2●競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス：信岡 史将（成田）71
Bクラス：永井 貴之（姉ヶ崎）73
上位3倶楽部
1位 姉ヶ崎カントリー倶楽部／303ストローク
2位 紫カントリークラブ すみれコース／304ストローク
3位 京カントリークラブ／306ストローク



11番パー4の第2打地点右手の池越しにグリーンを望む。



決勝進出
1位

姉ヶ崎カントリー倶楽部



決勝進出
2位

紫カントリークラブ すみれコース



応援のメンバーが見守る18番グリーン。



姉ヶ崎CCの高橋利哉選手（18番グリーン）。



姉ヶ崎CCの永井貴之選手（10番ティー）。

姉ヶ崎カントリー倶楽部
東コース
仕上がり良好のコース上で
4打差に5倶楽部がひしめく混戦

東コース

支配人 浅野直人氏
当倶楽部は昭和35年10月に開場し、今年65周年を迎えます。丘陵コースの東西36ホールです。季節にはサツキをはじめとする花木がコースの彩り、目も楽しませてくれるコースです。
競技当日はベストコンディションで選手の皆さまを迎えられますようコース管理部が一丸となり整備、準備してまいりました。スティンプメーターで10・8ftと良い仕上がりになりました。

競技の結果は5倶楽部が4打差の中にひしめく混戦で1位通過が開催倶楽部である姉ヶ崎カントリー倶楽部、2位通過で紫カントリークラブすみれコースが決勝への切符を手に入れました。
当日は天候にも恵まれ無事に競技を終えられました。これもひとえに関東ゴルフ連盟競技委員の皆さまをはじめ、参加倶楽部の選手、関係者皆様のご協力もあり、心より感謝申し上げます。

神奈川第1会場
予選競技
 Aクラス：6244yards・Par72
 Bクラス：6466yards・Par72
 2025年5月19日（月）●参加倶楽部数：14●通過倶楽部数：1●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
 Aクラス：河邊 博和（湘南シーサイド）71
 Bクラス：金子 光規（戸塚）70
上位3倶楽部
 1位 湘南シーサイドカントリー倶楽部／450ストローク
 2位 レインボーカントリー倶楽部／454ストローク
 3位 相模原ゴルフクラブ／458ストローク



大勢の応援メンバーが見守る9番グリーン。



決勝進出
1位

湘南シーサイドカントリー倶楽部

**神奈川
第1会場**

東京ロイヤルゴルフ倶楽部
 EAST・WESTコース
 コースコンディションの回復に
 一致団結で準備に当たり無事開催

総支配人 林武司氏
 当倶楽部設立60周年の記念すべき年に、2003年以来22年ぶり3回目の関東倶楽部対抗神奈川地区予選を開催させて頂きました。倶楽部対抗開催が決まり、コースコンディションを整備する中、昨年の酷暑によりグリーンが大きなダメージを受け、回復が危ぶまれましたが、コース管理部のもと社員一致団結して準備を重ねて開催することができました。



東京ロイヤルゴルフ倶楽部



本競技に向け、美しく整備されたグリーン。



レストランのビュッフェ料理。



東京ロイヤルゴルフガーデン（練習場）。

東京会場
予選競技
 Aクラス：6426yards・Par72
 Bクラス：6734yards・Par72
 2025年5月16日（金）●参加倶楽部数：14●通過倶楽部数：1●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
 Aクラス：清水 正一（青梅）74
 Bクラス：竹内 規晃（東京国際）71
上位3倶楽部
 1位 青梅ゴルフ倶楽部／460ストローク
 2位 東京国際ゴルフ倶楽部／462ストローク
 3位 府中カントリークラブ／477ストローク



好天のもと練習グリーン。



決勝進出
1位

青梅ゴルフ倶楽部

**東京
会場**

青梅ゴルフ倶楽部
 東・西コース
 ギャラリーテントは倶楽部対抗らしい
 和気藹々とした雰囲気

支配人 堀口勝行氏
 関東倶楽部対抗東京予選を開催いただき誠にありがとうございます。当倶楽部での開催は2012年以来13年振りとなりました。競技当日は好天に恵まれグリーンコンディションは10・5フィート・コンパクション24という厳しいコースコンディションのなか参加14倶楽部の代表選手112名による競技会となりました。当倶楽部では応援にお

見えになった出場倶楽部の皆様や関係者の皆様が自由にご利用いただけるようフリースペースとしてギャラリーテントをご用意させていただきました。倶楽部対抗らしい和気藹々とした雰囲気印象的でした。競技終了後の記念撮影の折には競技の緊張から解放された選手の皆様の素晴らしい笑顔が多く拝見させていただきました。各倶楽部代表選手の皆様、本当にお疲れ様で

した。本競技では当倶楽部（青梅ゴルフ倶楽部）が東京代表チームとなりましたが、代表選手の皆様の決勝競技でのご活躍をお祈り申し上げます。末筆ながら競技運営にあたり関東ゴルフ連盟の競技委員はじめ大会関係者の皆様、そして各倶楽部関係者の皆様のご尽力により競技会が盛会裏に終えられましたことを心より御礼申し上げます。



笑顔があふれる応援風景。



東コース1番ティーからクラブハウス方向を望む。



フリースペースになったギャラリーテント。



朝食時のレストラン。

Aクラス①②(裾野→桃園コース): 6263yards・Par72
③(愛鷹→裾野コース): 6385yards・Par72
Bクラス①②(桃園→愛鷹コース): 6739yards・Par72
③(愛鷹→裾野コース): 6676yards・Par72
2025年5月13日(火) ●参加倶楽部数: 30 ●通過倶楽部数: 3 ●競技方法: Aクラス3名、Bクラス3名出場、6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス 裾野→桃園コース: 堀内 芳洋(新藤ジャンボリー) 68
愛鷹→裾野コース: 加藤 忠男(沼津) 70
Bクラス 桃園→愛鷹コース: 田村 祐樹(太平洋・御殿場) 68
愛鷹→裾野コース: 千北 嘉太(太平洋・御殿場) 73

上位3倶楽部
1位 太平洋クラブ御殿場コース/446ストローク
2位 大熱海国際ゴルフクラブ/446ストローク
3位 沼津ゴルフクラブ/454ストローク



愛鷹コースの9番グリーン。



決勝進出
1位

太平洋クラブ御殿場コース



決勝進出
2位

大熱海国際ゴルフクラブ



決勝進出
3位

沼津ゴルフクラブ



裾野コースの1番パー4。



静けさの残るスタート前の風景。



東名カントリークラブ

静岡会場

東名カントリークラブ

管理課スタッフの懸命な努力で
コースはしつかり仕上がりが安堵

愛鷹・裾野・桃園コース

支配人 平野卓司氏

当競技にご参加の選手ならびに、運営いただきました競技委員の皆様、朝早くからご参集いただきましたありがとうございます。当日は天候にも恵まれ、滞りなく競技を終了する事ができました。この場を借りて心より感謝・御礼申し上げます。

コロナ禍以後の開催ということで、スコア掲示、表彰式共に実施無しと、いささかの寂しさを感じつつも時代の変化を感じた次第です。コースコンディションについて、昨年の酷暑の

影響を心配しておりましたが、管理課スタッフの懸命な努力の甲斐有り、しっかりと仕上がった事安堵いたしました。静岡県代表となられた各倶楽部の皆様、決勝戦での健闘を祈念いたしております。

神奈川第2会場
予選競技

Aクラス: 6357yards・Par72
Bクラス: 6541yards・Par72
2025年5月13日(火) ●参加倶楽部数: 14 ●通過倶楽部数: 1 ●競技方法: Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア
ベストスコア賞
Aクラス: 高井 正行(小田原・松田) 77
小笠原 和之(大厚木) 77
加藤 健二(小田原・松田) 77
村上 照幸(東名厚木) 77
泉 毅(清川) 77
Bクラス: 松並 良(秦野) 67

上位3倶楽部
1位 秦野カントリークラブ/464ストローク
2位 東名厚木カントリー倶楽部/466ストローク
3位 清川カントリークラブ/471ストローク



10番パー3のスタート風景。



決勝進出
1位

秦野カントリークラブ

支配人 露木康弘氏
関東倶楽部対抗 神奈川予選競技が、天候にも恵まれ、無事に運営を終えることができたことに安堵しております。コースについては、選手が実力を発揮できるよう、グリーンコンディショニングの調整やフェアウェイのディボット跡修復に注力し、プレー環境の向上に努めました。また、慣れない会場準備に対するプレッシャーもあり、スタッフには苦勞をかけたましたが、チームワークを育む良い機会にもなりました。さら

に、秦野カントリークラブが予選1位通過という結果を収められたことは、スタッフ一同にとって喜び深く、忘れがたい経験となりました。ご参加いただいた選手並びに関係者の皆様、ご協力いただいたKGA競技委員の皆様、心より感謝申し上げます。



1番ティーのスタートテント。



当日のアテスト会場風景。



当日は絶好のゴルフ日和だった。



名物ホールの12番のグリーン。

神奈川第2会場

秦野カントリークラブ

慣れない会場準備にプレッシャーも
チームワークを育む良い機会に

2025 SUMMER



鳳凰ゴルフ倶楽部



多摩カントリークラブ



紫雲ゴルフ倶楽部



カントリークラブ・ザ・レイクス



新千葉カントリー倶楽部



十日町カントリークラブ



千葉カントリークラブ



鳩山カントリークラブ

FAIRWAY COLLECTION



オリムピックカントリークラブ



境川カントリー倶楽部



鹿沼カントリー倶楽部



中津川カントリークラブ



穂高カントリークラブ



岡部チサンカントリークラブ



太平洋クラブ御殿場コース



京カントリークラブ

2025 SUMMER



扶桑カントリー倶楽部



藤岡ゴルフクラブ



鶴舞カントリー倶楽部



南長野ゴルフ倶楽部



カレドニアン・ゴルフクラブ



芳賀カントリークラブ



館山カントリークラブ



箱根カントリー倶楽部



FAIRWAY COLLECTION



姉ヶ崎カントリー倶楽部



東京五日市カントリー倶楽部



嵐山カントリークラブ



東名厚木カントリー倶楽部



皐月ゴルフ倶楽部 佐野コース



ゴルフ5カントリーサニーフィールド



セントラルゴルフクラブ



霞ヶ関カンツリー倶楽部



決勝競技

関東女子倶楽部対抗

5485yards・Par72

2025年6月18日(水)

●参加倶楽部数：32●競技方法：4名出場、上位3名の合計スコア

最優秀選手賞

長南 ひかる

(ゴルフ5・サニーフィールド) 70ストローク

上位5倶楽部

1位 鳳凰ゴルフ倶楽部／225ストローク

2位 ゴルフ5カントリーサニーフィールド／228ストローク

3位 紫雲ゴルフ倶楽部／230ストローク

4位 鹿沼カントリー倶楽部／231ストローク

5位 穂高カントリークラブ／232ストローク



関東ゴルフ連盟 橋本泰子副理事長から
林夏美キャプテンへ、優勝盾の贈呈。



優勝の報に大はしゃぎするメンバーたち。チームワークの良さが伝わる。



このハンドサインはチームワークの象徴。



倶楽部は5度目の決勝出場で初の1位。清田マキコ(左)と西有実子(右)。



左から西有実子、久保田文子、林夏美、
清田マキコ、加藤亜希子、奈良淳子、
坂田直子



鳳凰ゴルフ倶楽部

4年間変わらぬメンバーの結束力が 群馬県初の優勝を引き寄せる！

1 週間前に梅雨入りしたとは思えない快晴・猛暑の中で行われた、2025年関東女子倶楽部対抗決勝競技。5485ヤード・パー72と、女子としても比較的距離の短い設定ながら、雄大な景観とは裏腹に舞台となった箱根カントリー倶楽部の戦略性の高さチーム戦という競技性から、4人目の選手のホールアウトまでは優勝の行方が分らない接戦となった。

優勝は、群馬県勢では初となる鳳凰ゴルフ倶楽部に。

「4年ぶりの予選通過で、前回の成績を上回る5位入賞が今回の目標でした。だから、優勝なんて考えてもいませんでした」

と、鳳凰GCキャプテンの林夏美さんは語る。同チームはゴルフ場が名変停止中ということもあってメンバーの新陳代謝がなく、6人の選抜選手は全員4年前と同じだという。

「突出した選手はいませんが、私たちの強みはチームワークだと思います。研修会以外で合同練習はないものの、各人、女子ミッドやシニア、グランドシニアなどの競技に積極的に出てスキルを上げつつ、それぞれが気づいたことを情報共有するようにしています。それに仲間意識が強いので、こうしたチーム戦では、プレッシャーというよりも、全員が皆のために頑張ろうという気持ちだったと思います。だから、ミスしても下を向かずにプレーできていたのがよかったのかもしれない」(林キャプテン)

倶楽部対抗は、出場倶楽部の関係者や知人友人が応援に駆けつけ、個人戦と比べると、華やかでお祭り気分が漂う競技会でもある。スタートホールでは、各選手とも盛んな声援とたくさんの拍手で送られる。反面、チーム戦という特殊性もある。

決勝競技当日、内藤正幸競技委員長が次のように語っている。

「倶楽部対抗はフレンドリーといった感じもあるが、チームプレーという形は実際にプレーしている選手たちにとって、1つのボギーがダブルボギーのような感覚にさせることもある」

鳳凰チームが、「プレッシャーより仲間のために頑張ろうという気持ち」でプレーできたことが好結果に繋がったことは間違いないだろう。

前週の関東女子グランドシニアを6打差のぶつちぎりで制した角田里子選手(鹿沼CC)も所属倶楽部の代表として参加していたが、「チーム戦は全く違います。前半1アンダーで回って、よし! と思いましたが、後半ボギーが先行したらそれでもう終わったという気持ちになっちゃいました。個人戦ならば気持ちを切り替えていこうと思うのでしょけれど。私の場合、エースを盛り上げることでチームを鼓舞する立場だったので、ボギーはかなり堪えました」

と、チーム戦ならではの難しさを語る。結局、角田選手はオーバーパー

1 週間前に梅雨入りしたとは思えない快晴・猛暑の中で行われた、2025年関東女子倶楽部対抗決勝競技。5485ヤード・パー72と、女子としても比較的距離の短い設定ながら、雄大な景観とは裏腹に舞台となった箱根カントリー倶楽部の戦略性の高さチーム戦という競技性から、4人目の選手のホールアウトまでは優勝の行方が分らない接戦となった。

優勝は、群馬県勢では初となる鳳凰ゴルフ倶楽部に。

「4年ぶりの予選通過で、前回の成績を上回る5位入賞が今回の目標でした。だから、優勝なんて考えてもいませんでした」

と、鳳凰GCキャプテンの林夏美さんは語る。同チームはゴルフ場が名変停止中ということもあってメンバーの新陳代謝がなく、6人の選抜選手は全員4年前と同じだという。

「突出した選手はいませんが、私たちの強みはチームワークだと思います。研修会以外で合同練習はないものの、各人、女子ミッドやシニア、グランドシニアなどの競技に積極的に出てスキルを上げつつ、それぞれが気づいたことを情報共有するようにしています。それに仲間意識が強いので、こうしたチーム戦では、プレッシャーというよりも、全員が皆のために頑張ろうという気持ちだったと思います。だから、ミスしても下を向かずにプレーできていたのがよかったのかもしれない」(林キャプテン)

倶楽部対抗は、出場倶楽部の関係者や知人友人が応援に駆けつけ、個人戦と比べると、華やかでお祭り気分が漂う競技会でもある。スタートホールでは、各選手とも盛んな声援とたくさんの拍手で送られる。反面、チーム戦という特殊性もある。

決勝競技当日、内藤正幸競技委員長が次のように語っている。

「倶楽部対抗はフレンドリーといった感じもあるが、チームプレーという形は実際にプレーしている選手たちにとって、1つのボギーがダブルボギーのような感覚にさせることもある」

鳳凰チームが、「プレッシャーより仲間のために頑張ろうという気持ち」でプレーできたことが好結果に繋がったことは間違いないだろう。

前週の関東女子グランドシニアを6打差のぶつちぎりで制した角田里子選手(鹿沼CC)も所属倶楽部の代表として参加していたが、「チーム戦は全く違います。前半1アンダーで回って、よし! と思いましたが、後半ボギーが先行したらそれでもう終わったという気持ちになっちゃいました。個人戦ならば気持ちを切り替えていこうと思うのでしょけれど。私の場合、エースを盛り上げることでチームを鼓舞する立場だったので、ボギーはかなり堪えました」

と、チーム戦ならではの難しさを語る。結局、角田選手はオーバーパー

“箱根の夏”を満喫！ 笑顔いっぱいの女子倶楽部対抗



箱根CC



CC・ザ・レイクス



東京五日市CC

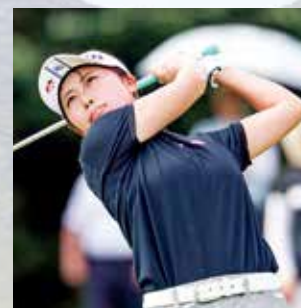


第10組のスタート



扶桑CC

最優秀選手は2アンダーの 長南ひかる選手 (ゴルフ5・サニーフィールド)



「プレーのリズムが良かったのが勝因の1つだと思います。同伴競技者の方とのリズムもそうです。目標はパープレーだったのですが、前半オーバーパーになって、後半は積極的に行こうと思ってスタートしました。そうしたら早い段階で、イメージ通りのパターが入ってバーディーが取れたことで、そこから流れよくプレーできました。試合に向けては特にアプローチの距離感を合わせる練習をしていたので、ピンボジが難しくてもある程度攻めていけました。最初はチーム戦なのでミスを引きずることを気にしていましたが、流れがよかったので上手く回れたのだと思います」(談)

「プレーのリズムが良かったのが勝因の1つだと思います。同伴競技者の方とのリズムもそうです。目標はパープレーだったのですが、前半オーバーパーになって、後半は積極的に行こうと思ってスタートしました。そうしたら早い段階で、イメージ通りのパターが入ってバーディーが取れたことで、そこから流れよくプレーできました。試合に向けては特にアプローチの距離感を合わせる練習をしていたので、ピンボジが難しくてもある程度攻めていけました。最初はチーム戦なのでミスを引きずることを気にしていましたが、流れがよかったので上手く回れたのだと思います」(談)



2位 ゴルフ5カントリーサニーフィールド



3位 紫雲ゴルフ倶楽部



4位 鹿沼カントリー倶楽部



5位 穂高カントリークラブ



箱根カントリー倶楽部

となってホールアウトした。他の上位選手も、同じようにチーム戦の責任の重さを口にする。
しかし、もう少し俯瞰してみると、華やかな応援も含めて個人競技とは趣きの違うチーム戦は、ゴルフの楽しみの幅を広げ、倶楽部の活性化に役立つとも言えるだろう。
倶楽部対抗は、現在、男女とも1戦ずつが組まれているが、その他にカテゴリーを変えた、アンダーハンディ戦などの倶楽部対抗戦を今後考えてもよいかもしれない。
(鈴木一也委員)



5555yards・Par72
2025年5月30日（金）●参加倶楽部数：15●通過倶楽部数：2●競技方法：6名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
岸田 真衣奈（南長野）70
上位3倶楽部
1位 穂高カントリークラブ／316ストローク
2位 南長野ゴルフ倶楽部／317ストローク
3位 中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部／325ストローク



遠くに北アルプスの峰々を眺望する11番ホール。



決勝進出
1位

穂高カントリークラブ

支配人 酒井洋幸氏
当倶楽部は、標高1000mに位置し、随所から雄大な北アルプス連峰が眺望できる高原コースです。
今回、当倶楽部で初めて開催される関東女子倶楽部対抗予選競技に向けて、雪解けから計画的にコース整備を行い、日を追うごとに入念なメンテナンスを行ってきました。
競技当日は、前日から続く降雨でコースコンディションが心配されましたが、グリーンスピードは10・2フィート、コンパクション22mmを計測、まずまずの状態を保つことができ、県

身の、大の里関、横綱昇進の吉報に糸魚川市が歓喜に包まれている中、翌5月29日（木）関東女子倶楽部対抗新潟会場予選競技が開催されました。グリーンのスピードは10・3フィート、やや硬めのコンパクションの仕上がり、天候は晴れ、午前7時で18度、風1・2m微風。最高のコンディションとなりました。
女子倶楽部対抗への参加は今年で4回目、初参戦で4位、翌年3位、昨年は2位で関東大会出場を果たし、数々の経験を積んだ中での地元開催。残念ながら念願の地元



決勝進出
2位

南長野ゴルフ倶楽部



決勝進出の力になった南長野GCの応援団。



応援のギャラリーが見つめる9番グリーン。



美しい景観に歩みを止めてしまう6番ホール。

南長野ゴルフ倶楽部

雪解けから計画的にコースを調整
入念なメンテナンスで競技開催へ



5558yards・Par72
2025年5月29日（木）●参加倶楽部数：16●通過倶楽部数：2●競技方法：5名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
佐藤 愛美（紫雲）71
上位3倶楽部
1位 紫雲ゴルフ倶楽部／308ストローク
2位 十日町カントリークラブ／329ストローク
3位 湯田上カントリークラブ／335ストローク



応援ギャラリーが見つめる9番グリーン。



決勝進出
1位

紫雲ゴルフ倶楽部



決勝進出
2位

十日町カントリークラブ



糸魚川カントリークラブ

糸魚川カントリークラブ

決勝大会出場はかなわずも、
チーム糸魚川の暖かな声援に感謝

専務取締役支配人 室川力氏
糸魚川カントリークラブは新潟県の南端、日本初ユネスコ世界ジオパーク認定、太古のロマン輝くヒスイ 石のまちとして知られる糸魚川市に新潟県上越市出身、金井清一プロ、監修のもと、1990年7月にオープンした丘陵コース。ゴルフ場からの景観は日本百名山で知られる雨飾山や白馬岳、日本海からは能登半島を遠くに望む大パノラマ、大自然の雄大さを体感できるコース。
競技前日の5月28日（水）は地元海洋高校出

身の、大の里関、横綱昇進の吉報に糸魚川市が歓喜に包まれている中、翌5月29日（木）関東女子倶楽部対抗新潟会場予選競技が開催されました。グリーンのスピードは10・3フィート、やや硬めのコンパクションの仕上がり、天候は晴れ、午前7時で18度、風1・2m微風。最高のコンディションとなりました。
女子倶楽部対抗への参加は今年で4回目、初参戦で4位、翌年3位、昨年は2位で関東大会出場を果たし、数々の経験を積んだ中での地元開催。残念ながら念願の地元

開催での決勝大会出場は叶いませんでしたが、競技当日早朝から暖かな声援。チーム糸魚川に感謝。
本競技にあたり関東ゴルフ連盟競技委員、参加倶楽部選手・関係者様、競技スタッフの皆様にご協力をお願い申し上げます。同時に、紫雲ゴルフ倶楽部、十日町カントリークラブの決勝競技でのご活躍を祈念申し上げます。



5461yards・Par72
2025年5月27日（火）●参加倶楽部数：13●通過倶楽部数：2●競技方法：6名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
西有実子（鳳凰）76
鈴木 咲良（サンコー）76
上位3倶楽部
1位 鳳凰ゴルフ倶楽部／315ストローク
2位 藤岡ゴルフクラブ／320ストローク
3位 白水ゴルフ倶楽部／321ストローク



応援メンバーが見守るスタートホール（1番パー4）。



決勝進出
1位

鳳凰ゴルフ倶楽部



決勝進出
2位

藤岡ゴルフクラブ



クラブハウスから練習グリーンを望む。



選手に好評だったレストランメニュー。



甘楽カントリークラブ

甘楽カントリークラブ

開場50周年の記念の年に
最高のコンディションで開催

支配人 小玉隆範氏
当クラブは、今年の10月で開場50周年目を迎え、記念の年にこのような競技会を開催出来たことを嬉しく思います。
当日の天候はくもり。暑くも無く寒くも無く、最高のコンディションの中、各倶楽部がお揃いのウェアをまとい、熱い戦いが繰り広げられました。
当クラブは残念ながら予選通過とはならなかったですが、開催コースのプレッシャーに負けず大健闘の結果であり



10番ティーのスタート風景。

ました。
最後に本競技の開催にあたり、KGA競技委員の皆様をはじめ大会関係者及び参加倶楽部の皆様の多大なるご協力のもと無事に競技を終了できましたことを深く感謝申し上げます。



5607yards・Par72
2025年5月29日（木）●参加倶楽部数：15●通過倶楽部数：2●競技方法：6名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
原 芽ぐみ（境川）72
平林 治子（都留）72
上位3倶楽部
1位 境川カントリー倶楽部／317ストローク
2位 オリムピックカントリークラブ／323ストローク
3位 都留カントリー倶楽部／330ストローク



芝打席の練習場は選手に大好評だった。



決勝進出
1位

境川カントリー倶楽部



決勝進出
2位

オリムピックカントリークラブ



晴れた日には富士山が眺望できる18番ホール。



富士レイクサイドCCレディス会応援団。



富士レイクサイドカントリー倶楽部

富士レイクサイドカントリー倶楽部

前回開催時に好評を博した
芝打席の練習場を今回も実施

支配人 日向智秀氏
2025年5月29日（木）、関東女子倶楽部対抗山梨予選競技が、開場65周年を迎える当倶楽部において開催されました。冬期クローズ明けより凍害の影響を受けたフェアウェイの回復が開催日まで懸念されましたが、松澤キーパーをはじめコース管理スタッフの並々な努力の結果、グリーンコンディションのみならず林帯整備に至るまで、選手や応援の皆様にも感嘆の声を頂く事が出来ました。
前回開催時に大変好評を博した芝打席の練習場

は、今回も春先から養生を進め、選手達にはプロトーナメントの雰囲気を感じて頂きました。競技中は15チームの華やかなユニフォームに負けないくらいの好プレーが続出し、沢山の熱い声援も飛び交いました。
本競技の開催にあたり、ご尽力をいただきました関根益隆競技委員長をはじめとする競技委員の皆様、そして出場選手と応援の皆様のご協力により、大きな事故もなく無事競技が開催出来ました事を心より感謝申し上げます。



茨城第1会場
予選競技
5604yards・Par72
2025年5月27日（火）●参加倶楽部数：19●通過倶楽部数：2●競技方法：6名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
磯貝 夏実（水戸レイクス）73
上位3倶楽部
1位 セントラルゴルフクラブ／323ストローク
2位 カントリークラブ・ザ・レイクス／326ストローク
3位 ワンウェイゴルフクラブ／332ストローク



茨城第1会場

ワンウェイゴルフクラブ

クラブ史上初のKGA
主催試合を無事開催

コース設計はピート・ダイ。



決勝進出
1位



決勝進出
2位



ワンウェイGC選手のスタートに大勢の応援。



代表選手のホールアウトを見守る選手・関係者。



ワンウェイゴルフクラブ



栃木会場
予選競技
5601yards・Par72
2025年5月21日（水）●参加倶楽部数：24●通過倶楽部数：3●競技方法：5名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
佐藤 香織（皐月・佐野）73
上位3倶楽部
1位 鹿沼カントリー倶楽部／322ストローク
2位 皐月ゴルフ倶楽部佐野コース／333ストローク
3位 芳賀カントリークラブ／335ストローク



栃木会場

那須小川ゴルフクラブ

9年ぶり開催に万全を期しての準備
スタッフ一同、張り切ってコース整備

トーナメントコース18番ホールの眺め。



決勝進出
1位

鹿沼カントリー倶楽部



鹿沼CCのベストスコア、鈴木郁子選手。



決勝進出
2位

皐月ゴルフ倶楽部佐野コース



スタートホールの1番パー4。



決勝進出
3位

芳賀カントリークラブ



那須小川ゴルフクラブ

理事長 篠崎暢宏氏
本年度、関東女子倶楽部対抗競技栃木予選は去る5月21日、ゴルフ日よりの爽やかな晴天に恵まれて参加24チームの熱戦が繰り広げられました。
当クラブでの本競技は平成28年（2016年）の同競技以来9年ぶりのことで、スタッフ一同、張り切ってコースを整備し、万全を期して準備しました。お蔭様で、競技委員の皆様からも高い評価を頂きました。当クラブは、かつてJLPGAツアー競技の那須小川

レディーストーナメントを20年に亘り開催したこともあり、グリーン並びにアプローチは難易度が高く、当日のグリーンスピードは9.5フィートに抑えましたが、各倶楽部の実力が発揮されたものと考えております。来年は、男子の倶楽部対抗栃木予選会場の一つになりますので、スタッフ一同、更に整備して参ります。
競技委員を始め大会関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

予選競技
埼玉会場

5397yards・Par72
2025年5月26日（月）●参加倶楽部数：32●通過倶楽部数：4●競技方法：4名出場上位3名の合計スコア
ベストスコア賞
川森 里菜（霞ヶ関）74
上位3倶楽部
1位 霞ヶ関カンツリー倶楽部／244ストローク
2位 岡部チサンカントリークラブ／248ストローク
3位 嵐山カントリークラブ／253ストローク



多くの倶楽部メンバー・関係者が観戦する18番グリーン。

決勝進出
1位

霞ヶ関カンツリー倶楽部

決勝進出
3位

嵐山カントリークラブ

決勝進出
2位

岡部チサンカントリークラブ

決勝進出
4位

鳩山カントリークラブ

東京ゴルフ倶楽部

華やかな雰囲気の出番スタートティー。

埼玉会場

東京ゴルフ倶楽部 コースコンディションに整備

支配人 萩原一博氏
関東女子倶楽部対抗埼玉予選は、5月26日（月）、32倶楽部参加のもと開催となりました。天気恵まれ、選手はもとより各倶楽部の応援の方々にも絶好の日となりました。

当倶楽部では昨年の日本オープンゴルフ選手権開催後の初の公式競技開催となりました。倶楽部を代表される選手の皆様には存分に力を発揮して頂きますよう、指定練習日から極力本番に近い状態に整備を行い、アンジュレーションのきつい朝霞グリーンはスピード10・8フィート、コンパクション23・5に仕上げ、女子倶楽部対抗

に相応しいコンディションで本番を迎えることが出来ました。グリーンを外した際のバンカーショットやアプローチは特に難易度が高かったことと思います。

そのような中、素晴らしい成績で予選を通過された4倶楽部の皆様には、決勝競技での活躍をお祈りしております。

関東ゴルフ連盟競技委員の皆様・参加倶楽部の選手及び関係者の皆様のご支援とご協力により無事に大会を終える事が出来ましたこと心より感謝申し上げます。

茨城第2会場

5603yards・Par72
2025年5月28日（水）●参加倶楽部数：18●通過倶楽部数：2●競技方法：6名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
長南 ひかる（ゴルフ5・サニーフィールド）71
上位3倶楽部
1位 ゴルフ5カントリーサニーフィールド／312ストローク
2位 扶桑カントリー倶楽部／326ストローク
3位 尖戸ヒルズカントリークラブ／332ストローク



華やかな彩の競技会がスタート。

決勝進出
1位

ゴルフ5カントリーサニーフィールド

決勝進出
2位

扶桑カントリー倶楽部

支配人 橋本誠一氏
当日までの一週間前の天気は、雨の日が多くコースコンディションは良くありませんでした。前日に水抜き、バンカー砂の補充など全力で作業致しましたが、当日もスタート1時間前に雨に見舞われてしまいコンディションの悪い中での開催となりました。選手の皆様に万全のコンディションで提供出来なかったことがとても残念な思いでございました。ただ、スタート時間前に雨も上がり日中は晴れて各選手の真新しいウェアが一層際立って、華やかな競技会で終了できたことにKGA

競技委員並びに各倶楽部の担当者の方々に深くお礼申し上げます。

女子の競技を盛り上げるため、プロの競技でも見かけるスポンサー看板での囲い込み（マナでは、KGA主催の看板）でスタートホールティーンエニアと最終18番ティーンエニアに設置してプラントの花を添えて演出し、各倶楽部の方より好評を得たことに嬉しくおもっております。



会場を盛り上げたマナGCの応援団。



ティール周りの囲いは選手に好評。



マナゴルフクラブ

茨城第2会場

マナゴルフクラブ 各選手の真新しいウェアが一層際立って華やかな競技会に

千葉県第2会場
予選競技

5550yards・Par72
2025年5月26日（月）●参加倶楽部数：22●通過倶楽部数：3●競技方法：6名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
馬場 由美（習志野） 71
上位3倶楽部
1位 館山カントリークラブ／311ストローク
2位 カレドニアン・ゴルフクラブ／312ストローク
3位 鶴舞カントリー倶楽部／313ストローク



18番グリーン周りには各倶楽部の応援団が集結。



決勝進出
1位
館山カントリークラブ



決勝進出
2位
カレドニアン・ゴルフクラブ



決勝進出
3位
鶴舞カントリー倶楽部



総武カントリークラブ

支配人 谷口昌宏氏
当クラブは開場57年を迎え、総武カントリークラブ印旛コースとしては関東女子倶楽部対抗千葉会場予選競技を初めて開催いただき誠にありがとうございます。当日は春らしい天候にも恵まれ、女子競技ならではのギャラリーの華やかさもあり、笑顔の絶えない一日となりました。本番直前まで多くの参加選手の皆様が練習ラウンドに訪れていただき、本競技に掛ける熱い思いが伝わり、期待に応えたいという我々スタッフのモチベーションに繋がりました。

当クラブでの開催が決まって以降はコース管理スタッフが総力を挙げて準備を整えて参りました。昨夏の猛暑の影響を改善しながらの管理で非常に苦労しましたが、無事競技を終えることができ胸を

なでおろしている次第です。運営においては女性スペースが狭いことから、当日は男子施設も使用していただくため、アメニティをはじめ、気持ちよくご利用いただくための準備にも余念がありません。

決勝への出場を決めた優勝の館山カントリークラブ、2位のカレドニアン・ゴルフクラブ、3位の鶴舞カントリー倶楽部におかれましては箱根カントリー倶楽部でのご健闘を心よりお祈り申し上げます。

最後になりましたが、競技開催にあたりご尽力いただきました関東ゴルフ連盟の皆様、中村和子競技委員長をはじめとする担当競技委員の皆様ならびに参加倶楽部の選手、関係者の方々のご協力に深く感謝し、心より御礼申し上げます。

千葉県第2会場

総武カントリークラブ
印旛コース
ギャラリーの華やかさもあり、笑顔の絶えない一日に

千葉県第1会場
予選競技

5785yards・Par72
2025年5月23日（金）●参加倶楽部数：22●通過倶楽部数：3●競技方法：6名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
篠塚 美幸（佐原） 74
上位3倶楽部
1位 姉ヶ崎カントリー倶楽部／318ストローク
2位 千葉カントリークラブ／320ストローク
3位 京カントリークラブ／327ストローク



2003年、2018年日本女子オープン開催コース。画像は18番ホール。

千葉県第1会場

千葉カントリークラブ
野田コース
各倶楽部の名手が集まった圧巻の試合



決勝進出
1位
姉ヶ崎カントリー倶楽部



決勝進出
2位
千葉カントリークラブ



決勝進出
3位
京カントリークラブ



スタート時間ギリギリまでパットの練習。



選手で賑わうドライビングレンジ。



千葉CCの落合美詠子選手のティーショット。



ラインを読む千葉CCの豊嶋裕美子選手。

支配人 須賀佐佳生氏
この日の為に整えられたコースは、各選手達の実力を存分に引き出し、また、各選手達が遺憾なく実力を発揮する姿は、「圧巻」の連続でした。午後が近づくにつれて天気も回復し、戦いはさらに盛り上がり、最終組まで続きました。

戦いを勝ち抜き、次のステージに進む3倶楽部の皆様、本当におめでとうございます。そして、共に戦った19倶楽部の皆様、素晴らしい戦いがありました。

競技運営にあたり関東ゴルフ連盟役員ならびに小笠原みさ子競技委員長をはじめとする競技委員の皆様、そしてご参加いただきました各クラブの皆様や関係者皆様のご支援・協力のもと、無事に競技を開催できました事を、心より感謝とお礼申し上げます。ありがとうございました。

予選競技
神奈川会場

5397yards・Par72
2025年5月23日（金）●参加倶楽部数：19●通過倶楽部数：2●競技方法：5名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
山崎 優（津久井湖）74
上位3倶楽部
1位 中津川カントリークラブ／324ストローク
2位 東名厚木カントリー倶楽部／329ストローク
3位 大森野カントリークラブ／331ストローク



鎌倉CC、宇留島麻知子選手の18番ティーショット。

決勝進出
1位

中津川カントリークラブ

支配人 倉田勝弘氏
このたびは、2025年関東女子倶楽部対抗神奈川予選競技を57周年目を迎えた当クラブにて無事開催できましたこと、心より御礼申し上げます。今年はコロナ禍を経て、久しぶりにギャラリー観戦が叶いました。この日の為に日々努力を積み重ねてきた選手のプレーをより多くご覧いただく為に、一部の管理道路を開放したことでティーイングエリア8カ所、グリーン9カ所での観戦が実現しました。

古都鎌倉の自然の地形と起伏を活かしたレイア

決勝進出
2位

東名厚木カントリー倶楽部

ウトと戦略性が要求される当コースでの競技は、95名の参加選手中70台のスコアが5名のみと多数の選手が苦戦するなか、見事大会を制した中津川カントリークラブの選手の皆様、とても素晴らしき優勝でした。心よりお祝い申し上げます。本競技を通じて、ゴルフの奥深さと倶楽部対抗の意義を改めて実感すると共に参加選手皆様のご健闘に心より敬意を表します。



大勢の応援メンバー・関係者が見守る9番グリーン。



鎌倉CCの小栗季莉選手。



鎌倉カントリークラブ

神奈川会場 鎌倉カントリークラブ ゴルフの奥深さと倶楽部対抗の意義を改めて実感

予選競技
東京会場

5702yards・Par72
2025年5月27日（火）●参加倶楽部数：12●通過倶楽部数：2●競技方法：5名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
堀口 幸子（東京五日市）78
金井 佳代（青梅）78
上位3倶楽部
1位 多摩カントリークラブ／346ストローク
2位 東京五日市カントリー倶楽部／346ストローク
3位 八王子カントリークラブ／351ストローク



1番ホールスタート風景。

決勝進出
1位

多摩カントリークラブ

支配人代行 廣木昌人氏
関東女子倶楽部対抗東京会場予選競技を当倶楽部で開催頂き誠にありがとうございます。昭和36年東京都町田市に開場し、多摩丘陵の変化に富んだ地形を巧みに生かし、18日それぞれに別の景色を持ち絶妙なアンジュレーションでゴルフアの挑戦心を掻き立てるレイアウトになっています。シャトレレーゼが所有する国内21のゴルフ場の代表格として「食」へのこだわりはもちろん、ゴルフを通して「運動」による健康作りをサポートするため室内ジムや真向法体操（エ

決勝進出
2位

東京五日市カントリー倶楽部

クササイズ）プログラムを実施、さらに心の健康に向けて弦楽四重奏の生講演会やワイン風呂も実施するなど食べること・カラダを動かすこと・心のストレス解消と健康作りのサポートにも力を注いでおります。

各倶楽部の代表選手の皆様には日頃の練習の成果を発揮頂けるようグリーンキーパー中心に最高のコースコンディションに仕上げるため準備をして参りました。丘陵コースの難しき、楽しさを感じて頂けたら幸いです。競技当日は、ゴルフに最適な天候の中、見事に予



東京国際ゴルフ倶楽部

選を通過された多摩カントリークラブ、東京五日市カントリー倶楽部におかれましては東京の代表として更なる活躍を祈念申し上げます。

本競技開催にあたりご尽力いただいた関東ゴルフ連盟競技委員・関係者の皆様、厚く御礼申し上げます。



早朝の練習グリーン風景。



花ヶ崎 一男キャプテン

「うちのチームは、2011年に研修会ができてから、やっと今年、キャプテンの花ヶ崎一男さんは、

「最初はメンバーに若手が少なかったのですが、小さいころからゴルフを始めて、大学を出て社会人になつて入会してくるメンバーが出てきた。うちのチームはクラブで育つ



眞々田 恒久キャプテン

た選手を中心にやっています。最近では、厚くなりまして」とキャプテンは笑顔で振り返る。

「ここ数年は、6位、4位と予選で上位に入りながら、決勝までわずかに届かないことが続いていた。それだけに、「今年にかける思いが強かった。会場が豪華の姉ヶ崎カントリー倶楽部だったので、2位までの残る枠はつしかなくないと思っていました。75平均で300ストロークを目指していました」という。結果は、姉ヶ崎CCに1打差の304ストロークで2位。見事に決勝進出を決めた。この快挙に倶楽部は盛り上がり、メンバーからは次々に激励のカンパが寄せられたという。

静ヒルズカントリークラブ

42チームが出場した倶楽部対抗決勝競技。それぞれに決勝に進むまでの思いと努力の日々がある。そんな中から初めて決勝の舞台に出場した静ヒルズカントリークラブと53年ぶりに決勝に戻ってきた紫カントリークラブすみれコースにスポットを当てた。

インサイドストーリー

倶楽部対抗 決勝進出倶楽部

紫カントリークラブ すみれコース

札幌で冬季オリンピックが開かれた1972年以来53年ぶりに決勝競技に進出したのが紫カントリークラブすみれコース。キャプテンの眞々田恒久さんは、予選競技の日のことを、前日の出来事のように振り返った。「選手たちが、それぞれの最終ホールのグリーンで次々にワンバットで沈めていったのです。1打にこだわって気合が入っていました。応援団も大興奮でし

静岡会場
予選競技



5571yards・Par72
2025年5月27日（火）●参加倶楽部数：11●通過倶楽部数：1●競技方法：6名出場、50歳以上の選手を2名以上含めた上位4名の合計スコア
ベストスコア賞
森口 裕子（太平洋・御殿場）72
上位3倶楽部
1位 太平洋クラブ御殿場コース／309ストローク
2位 フジ天城ゴルフ倶楽部／321ストローク
3位 東名カントリークラブ／329ストローク



右手に富士山を望む練習場。

静岡会場

東名カントリークラブ

裾野・桃園コース

出場選手が非常に楽しそうにプレーする姿にスタッフ一同安堵



決勝進出
1位

太平洋クラブ御殿場コース

支配人 平野卓司氏
当競技にご参加の選手ならびに、運営いただきました競技委員の皆様、朝早くからご参集いただきありがとうございます。この場を借りて心より感謝申し上げます。
当日は、午後からの雨予報を心配しておりましたが、特に崩れることなく気持ちの良い一日となりました。日に日にコースコンディションも良くなり、選手の皆様が非常に楽しそうにプレーされる姿にスタッフ一同安堵いたしました。
今後、益々盛り上がり参加倶楽部がさらに増えま



富士宮GCの選手と応援メンバー。



18番グリーン奥の応援風景。



スコアカード提出所。



緊張のトップスタート組。



東名カントリークラブ

すこと、静岡県代表倶楽部様の決勝戦での健闘を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

ルール

Q

&

A



「JGA ゴルフルールチャンネル」

一般ゴルファーが処置に迷うことが多いルール上の問題に、規則委員会が分かりやすく回答。
今回は舗装道路や2本軌道のカート道路からの救済について。

Q

コース管理用の全面舗装道路の真ん中に球が止まりました。
そのままプレーしても良いのか、救済を受けられるのか、救済を受けられるのであればどのようにすべきか教えてください(質問①)。

また、あるコースは、2本の軌道をもつカート道路があり、そこに球が止まるケースをよく見かけます。そこは、ローカルルールでプレー禁止区域となっていました。この場合どのようにすべきか教えてください(質問②)。

A-1

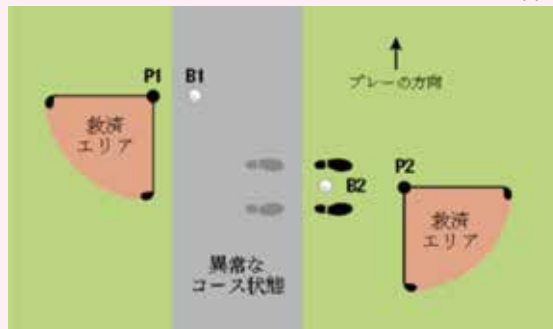
舗装されたカート道路は「動かさない障害物」としてあつかわれそのまま打つこともできますが、規則 16.1 も適用になります。

球がペナルティーエリア以外のコース上のどこにあっても、カート道路に球が触れていたり、カート道路がスタンスや意図するスイング区域の障害となる場合、プレーヤーは救済エリアに元の球か別の球をドロップすることにより罰なしの救済を受けることができます。具体的な救済については以下の図の様になります。

【キーワード】

- ・定義「動かさない障害物」
- ・救済を受けられる
- ・ペナルティーエリア以外のコース上

図-1



規則 16.1 は動かさない障害物の他に「動物の穴」「修理地」「一時的な水」による障害から認められる罰なしの救済を扱っています。

図-1 共通 B1 に対する完全な救済のニヤレストポイントは P1 となる
図-2 共通 B2 に対する完全な救済のニヤレストポイントは P2 となる

A-2

コース上にあり2本の軌道を持つカート道路は2本の舗装区域の間にカートを誘導する線が埋め込まれている場合が多く、その線の断線を防ぐため多くの場合ローカルルールにより「プレー禁止区域」として指定されます。その場合、2本の舗装区域の全幅をもって一つのプレー禁止区域とするケースが多くあり、球が舗装区域に止まっても2本の間の区域に止まっても救済を受けなければなりません。

完全な救済のニヤレストポイントの決め方は下図の通りになりますが、**スタンスのみがプレー禁止区域の障害となる場合にはそのままプレーすることも可能とするローカルルールを制定することもあるので、プレーを始める前にローカルルールを確認しておきましょう。**

【キーワード】

- ・プレー禁止区域
- ・救済を受けなければならない
- ・スタンスのみが障害となる

図-2



インサイドストーリー

女子倶楽部対抗 決勝進出倶楽部

女子倶楽部対抗決勝進出32チームには、それぞれチーム作りの過程にはホットなストーリーがある。その中から決勝競技の舞台となった箱根カントリー倶楽部と昨年の初出場から2年連続出場を果たしたカントリークラブ・ザ・レイクスの内実に迫った。

箱根カントリー倶楽部

開催コースとなった箱根カントリー倶楽部は、日光カントリー倶楽部で開催された2017年の決勝競技以来の出場。エースで先鋒の中野陽子選手が1番ホール、200ヤード地点のバンカーを余裕で越えるナイスドライブを放つと、大応援団から「ナイスウー!」「頑張つて!」と黄色い歓声が上がった。

中野選手にとって、決勝競技の舞台は2013年の大根カントリークラブ以来。結婚と出産のため競技から離れていた。夫はトップアマの秋元「男」選手で、夫婦ともに日大ゴルフ部出身。夫は龍ヶ崎カントリー倶楽部で開催された関東アマ決勝競技に出場したが、惜しくも



マッキングス
コアで12年
ぶりの日本
アマ出場を
逃した。有
児のため夫
婦そろって
長らく競技
から離れて
いたが、数
年前から本格的に競技を再開した
のだ。中野選手は夫から「頑張つて」と励まされ、9年ぶりの決勝競技に臨んだ。

チームメイトや従業員からの応援もあり、自ら「上出来」と評する76ストロークで回った。「キャディーさんのグリーンの読みが大きな力になりました。本当に素晴らしいチー

ムで、選手以上に研修会員みんなの頑張り心強かった」と振り返る。

箱根の女子研修会には総勢47人が在籍。3月から12月までのスコアで選手選考を行う。成績だけでなく、マナーや品格も重視される。「研修会では何よりもプレーファーストを重視し、各組でエチケッターダーを指定することで選手の意識が向上し、プレー時間の短縮につながっています」と中原頼子研修会会長。

箱根は参加32チーム中28位に終わった。とはいえ、選手たちはホストとしてプレーファーストに務め、応援団、コーススタッフとともにチームの団結力を示した。

カントリークラブ・ザ・レイクス

鮮やかなピンクのポロシャツに白のパンツ。手には選手の名前や愛称が書かれた黄色地のプラカード。箱根の研修会に負けじと、奮闘する選手たちに20数人の応援団が熱い声援を送った。

「茨城予選(6人出場)には出場しましたが、決勝の4人に入れなかったため、今日は一生懸命応援



します」とキリッとした表情で語るのは、選手的な黒いウェアに身を固めた倉片史会長。レイクスでは女子研

修会と呼ばず、「さくら会」という。レイクスは昨年、初めて決勝競技に出場。そして2年連続で決勝進出を果たし、確実に地力をつけていることを証明した。毎月、30人以上が参加する「さくら会」は和気あいあいとした雰囲気の中にも、選手権を目指すメンバーたちの激しい戦いが繰り広げられているという。チームの主力・登坂和歌子選手は「さくら会」に入って7年目のアスリート。「昨年前に腰の手術をしたため、昨年は倶楽部対抗に出場できず悔しい思いをした。」「予選から頑張つてきて、今日の結果(82ストローク)は素直に喜ばませんが、名門・箱根でプレーできて楽しかった。応援してくれた仲間たちと夫に感謝したい」と笑顔を見せた。

ゴルフ振興委員会医学部会 アンケート調査のご協力をお願い

ゴルフ振興委員会医学部会では、昨年に引き続き、ゴルファーの皆さんを対象に「高温時のプレーの現状調査」を実施しています。本調査に関するご案内リーフレット(右写真)は各ゴルフ場に配布しております。

同医学部会では、併せてゴルフ場従業員の方々を対象に「夏季のゴルフ場での屋外労働の現状に関する調査」も実施しております。

それぞれ回答に要する時間は5分程度です。ご協力いただける方は右記QRコードからアンケートサイトへアクセスをお願いいたします。いずれも実施期間は、2025年9月21日～10月31日です。

※本調査は、回答される方の自由意志でご協力をお願いするものです。

※通信費をご負担いただく可能性もありますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



ゴルファー向け
QRコード



ゴルフ場従業員向け
QRコード



お詫びと訂正 本誌第146号掲載の写真とキャプションに誤り

「2025夏号第146号」15ページのWomen's Golf Dayの記事中に掲載しました写真とキャプションの誤りがありました。

読者ならびに関係倶楽部の皆様には、大変なご迷惑をおかけいたしました。お詫びするとともに、下記の通りに訂正いたします。

誌面掲載写真は平川カントリークラブ撮影の画像で、キャプションにある勝浦ゴルフ倶楽部のイベント写真を改めて紹介いたします。



平川カントリークラブ



勝浦ゴルフ倶楽部

TEAM KGA ジュニア出身の佐藤快斗 アマチュアゴルファー日本一に

アマチュアゴルファー日本一を決める「第109回日本アマチュアゴルフ選手権」は7月1日～4日、横浜カントリークラブ（西コース）で開催され、TEAM KGA ジュニア（TKJ）出身で現在東北福祉大学2年の佐藤快斗（2023年度第11期生）が優勝しました。TKJ出身選手の優勝は中島啓太、中野麟太郎に続く2年ぶり3人目となります。佐藤は現在、中野とともにJGAナショナルチームメンバーとして活動しています。



写真提供:日本ゴルフ協会

せていただきました。鷹之台CCは創立93年で初の優勝とのこと。私事ですが、亡くなった義父が同倶楽部の会員だった縁で、何度も通わせていただいたコースです。そのため友人も多く、自分のことのようにうれしく思っております。

まだまだ暑い日が続くようですが、皆さまには引き続き体調管理にお気をつけ下さい。

(広報委員長 近藤勇樹)

夏と蟬と小学生大会

連日35度を超える猛暑日が続いた今年の夏。関東小学生ゴルフ大会決勝は、長野市の山間にある長野カントリークラブを舞台に開催されました。標高約1100メートルの高地にあるコースは、7月30日の午前7時30分のスタート時で気温21度。松や白樺の木立の間を抜けてくる涼風も心地良く、男子62人、女子54人の選手全員が、元氣よくスタートして、無事に18ホールをプレーすることができました。

手たちの表情は充実感にあふれていました。自然がもたらす条件に加えて、看護師さんによる健康チェックや十分な水分補給、ハーフ終了後の40分程度の休憩など熱中症ガイドラインに沿った対策も実施された運営で、家族や大会関係者にとっても、安心して見守ることのできる大会となりました。素晴らしいコースコンディションを準備していただいた長野カントリークラブに改めて感謝申し上げます。

昨夏は、関東地方で猛暑が続ぎ、関東ゴルフ連盟が策定した「高温時における具体的な行動指針（ガイドライン）」に沿って、9ホールに短縮された決勝競技だっただけに、無事に18ホールを完走した選手は、関東地方で猛暑が続ぎ、関東ゴルフ連盟が策定した「高温時における具体的な行動指針（ガイドライン）」に沿って、9ホールに短縮された決勝競技だっただけに、無事に18ホールを完走した選手は、

リンゴの木に青い実が付き、さまざまな樹木の緑豊かなコース内で、たくさんのかきつきの木を登るようになって列をなして、地上付近から上へ上へと続いている空蟬。地中で

幼虫のまま数年間を過ごし、やっと地上に出てきた蟬たちのたくましい生命へのエネルギーも感じられました。首都圏などでは、あまりの高温続きが原因で、蟬の活動力が低下したり、羽化するタイミングが狂ったりして、今年の夏は蟬の鳴き声を聞くことが少なくなつたと言われています。たが、長野の山間では、蟬の活動は活発で、1週間から10日程度で終わってしまいう成虫としての一生を惜しむように元気に鳴いていました。蟬取りに夢中になつていた少年時代を久しぶりに思い出しました。



作ではありませんが、1句浮かびました。

蝉しぐれ
白樺登る
殻残る

(文:古谷隆昭参与、
写真:池田正一参与)

「KGA GOLFER'S NEWS」をいつもお読みくださりありがとうございます。

今号は倶楽部対抗特集号です。予選を含めてご参加いただいた選手・応援の皆さまにはお疲れ様でした。鷹之台カンツリー倶楽部、鳳凰ゴルフ倶楽部の選手、両倶楽部の会員、関係者の皆さま、優勝おめでとうございました。

倶楽部対抗決勝は吉田裕明理事長とともに観戦さ



KGAGOLFER'S NEWS

2025年9月30日発行

KGAGOLFER'S NEWS No.147

発行所／一般社団法人 関東ゴルフ連盟

〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目18番11号

銀座SCビル4階

TEL 03-6278-0005 FAX 03-6278-0008

ホームページ <https://www.kga.gr.jp>

発行人／吉田裕明 編集／広報委員会



大利根カントリークラブ

〒306-0633

茨城県坂東市下出島10

TEL : 0297-35-1344



箱根カントリー倶楽部

〒250-0631

神奈川県足柄下郡箱根町仙石原1245

TEL : 0460-84-8571